

《地域医療情報NO58》速報

☆厚労省＜地域医療構想WG＞で「新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域医療構想の考え方」を集中論議！

厚労省の＜地域医療構想WG＞も、8月以降、論議再開しましたが、「医療計画」の見直しと同様に「新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた地域医療構想の進め方」として集中討議が進んでいます。10/21開催の第27回WGで討議資料として出された内容（データ）には、いくつか重要な指標が明らかにされています。その内容の一部を掲載し、私たちが「コロナ禍」に於ける医療の実態から今後の地域医療構想の在り方を考える材料としていきたいと考えます。

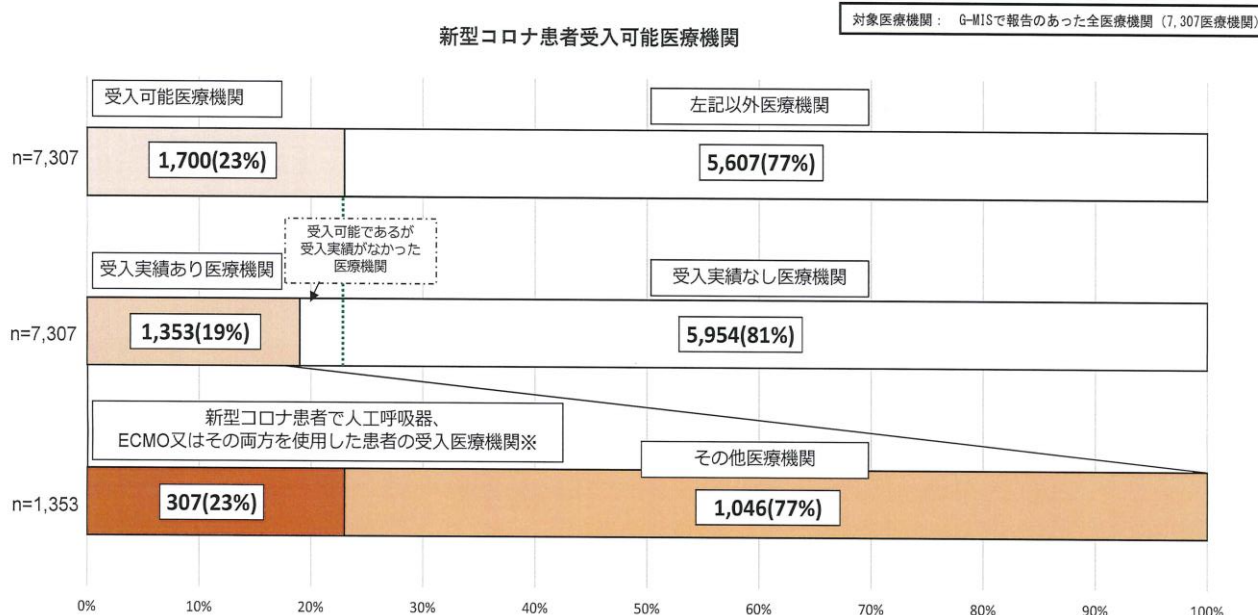
*資料は「10/21第27回地域医療構想WG」で公表された一部です。

(その①)

「新型コロナ受入れ可能医療機関は全体の23%（1,700病院）/母数7,307

新型コロナ患者受入可能医療機関及び受入実績の有無について

- 全医療機関のうち、新型コロナ患者の受入可能医療機関の割合は23%、受入実績あり医療機関の割合は19%。
- 受入実績あり医療機関のうち、人工呼吸器、ECMO又はその両方を使用した患者の受入医療機関の割合は23%。



※G-MISで「（入院中のうちECMO・人工呼吸器管理中）、（入院中のうち人工呼吸器管理中（ECMOなし））」のいずれかの新型コロナ患者が入院していた医療機関

☆「受入れ実績」は全体の19%（1,353病院）

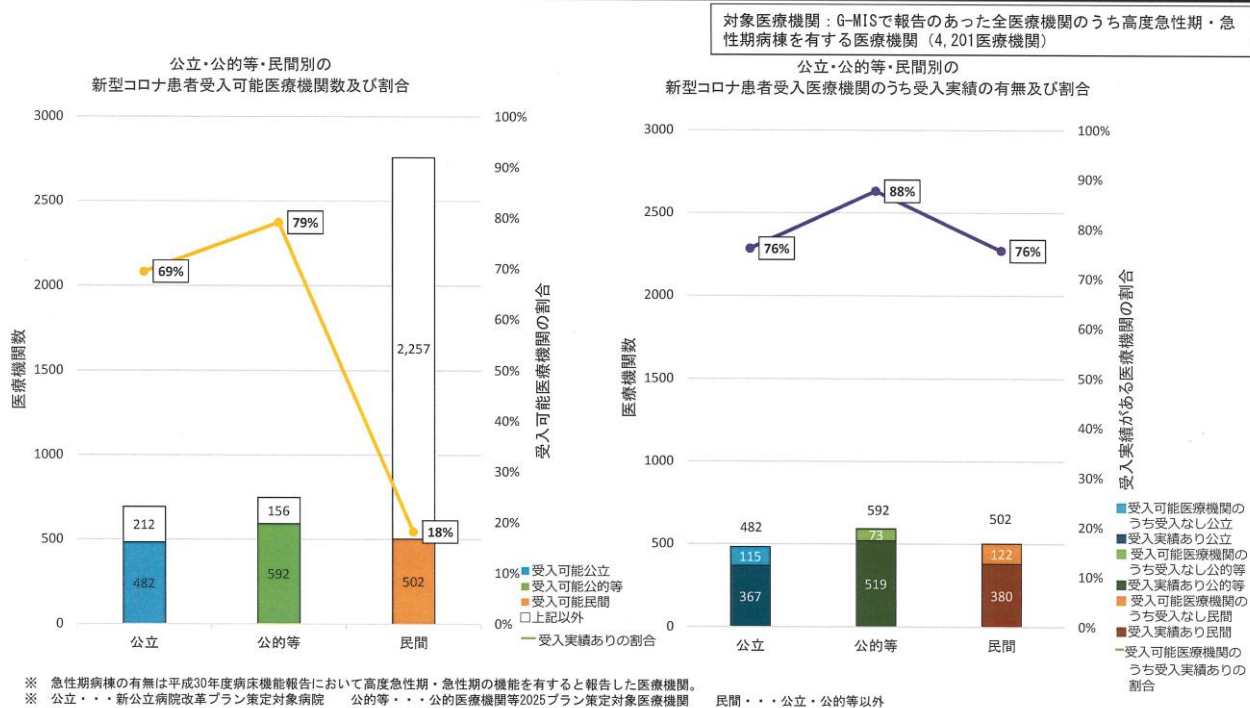
内、重症患者（人工呼吸器・エクモ）受入れは307病院（受け入れ実績の23%、全病院の4.2%）

(その②)

公立・公的病院の「新型コロナ受入れ可能」が際立つ！/公立69%・公的79%

公立・公的等・民間別の新型コロナ患者受入可能医療機関及び受入実績の有無について

- 受入可能医療機関数及び受入実績がある医療機関数は公的等が多く、公立と民間は同程度である。
受入可能医療機関のうち受入実績がある医療機関の割合は、公的等が88%、公立及び民間が76%である。



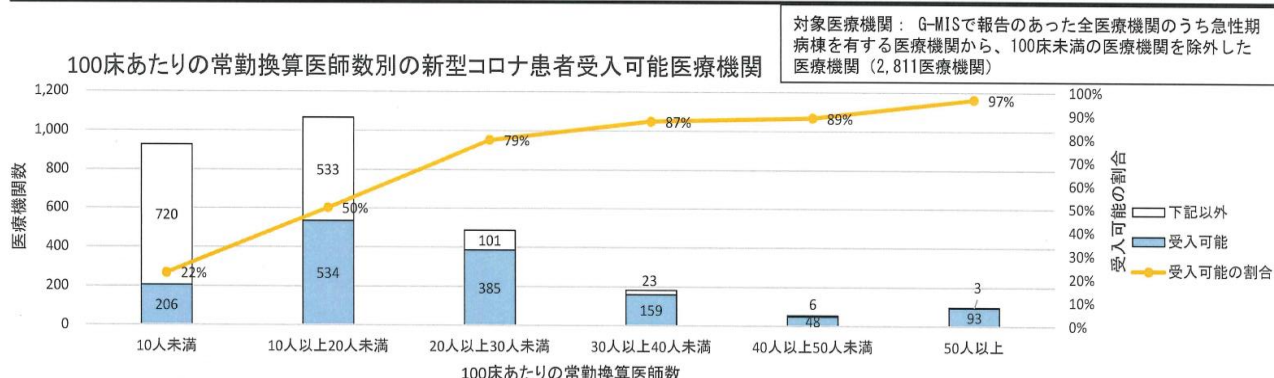
* 受入れ可能病院での「受け入れ実績」では、**公立 76%** (367—482 病院中)、**公的 88%** (519—592 病院中)、**民間 76%** (380—502 病院中) (母数—4,201 病院＝高度急性期・急性期病棟有する病院)

(その③)

100床当り「常勤換算医師数」別の「受入れ可能医療機関」 /10人以上～で50%超える！

100床あたり常勤換算医師数別の新型コロナ患者の受入可能医療機関及び受入実績の有無について

- 100床あたり常勤換算医師数が多い医療機関ほど、新型コロナ患者受入可能医療機関の割合は大きくなる傾向。



* 「コロナ受入れ病床・病棟」は担える医師が一定数以上いなければ対応できない！

(その④)

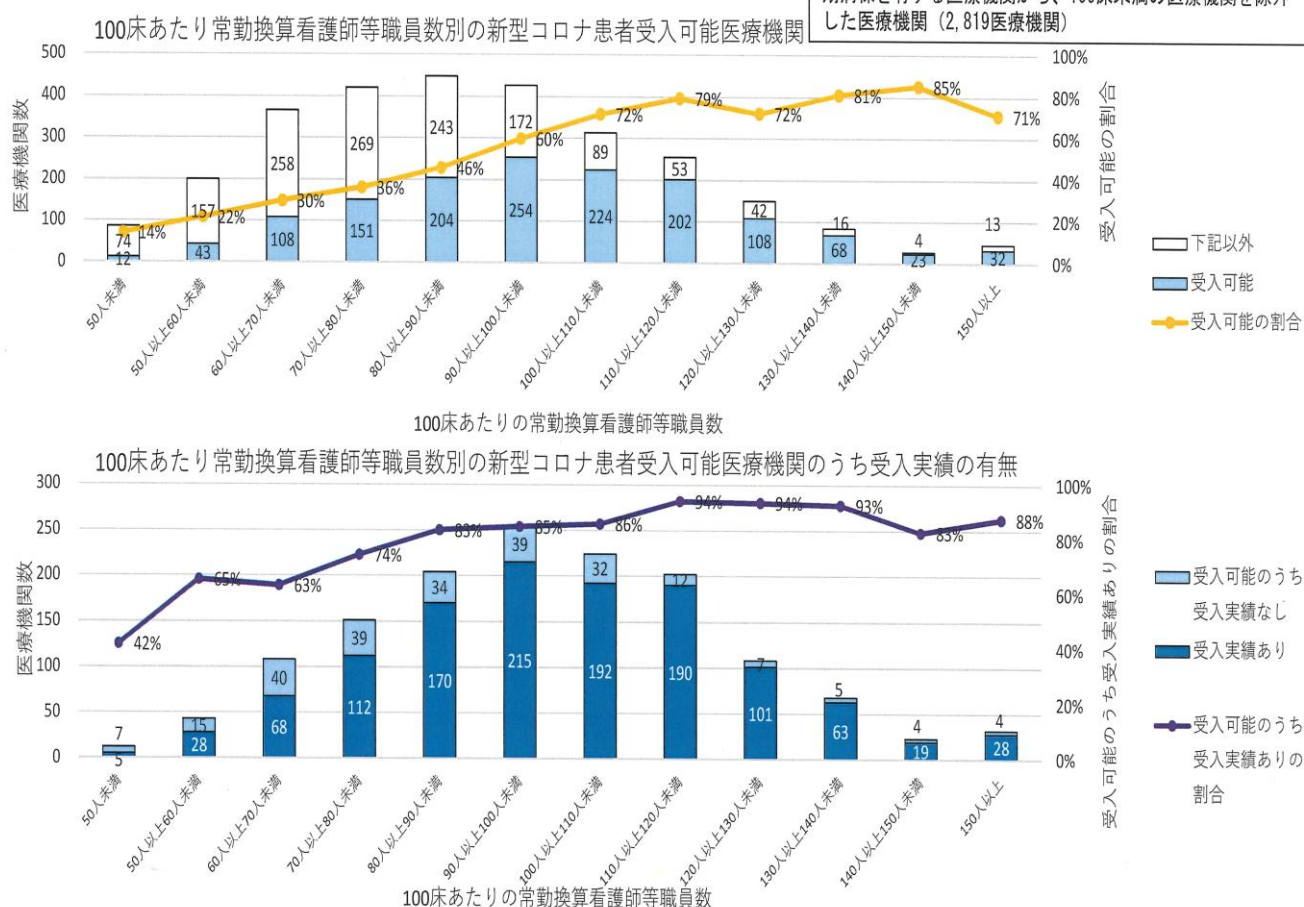
100床当り「常勤換算看護師数」別

- ・「受入れ可能医療機関」/90人以上で60%超える
- ・「受け入れ実績」/50人以上で60%超える！

100床あたり常勤換算看護師等職員数別の新型コロナ患者受入可能医療機関及び受入実績の有無について

○ 100床あたりの常勤換算看護師等職員数が多い医療機関ほど、新型コロナ患者の受入可能医療機関の割合は大きくなる傾向。

対象医療機関：G-MISで報告のあった全医療機関のうち急性期病棟を有する医療機関から、100床未満の医療機関を除外した医療機関（2,819医療機関）



※ 急性期病棟の有無は平成30年度病床機能報告において高度急性期・急性期の機能を有すると報告した医療機関。
 ※ 常勤換算看護師等職員数、病床数（一般病床及び療養病床の許可病床数）は平成30年病床機能報告より引用。
 ※ 看護師等職員は、看護師、准看護師、看護補助者。

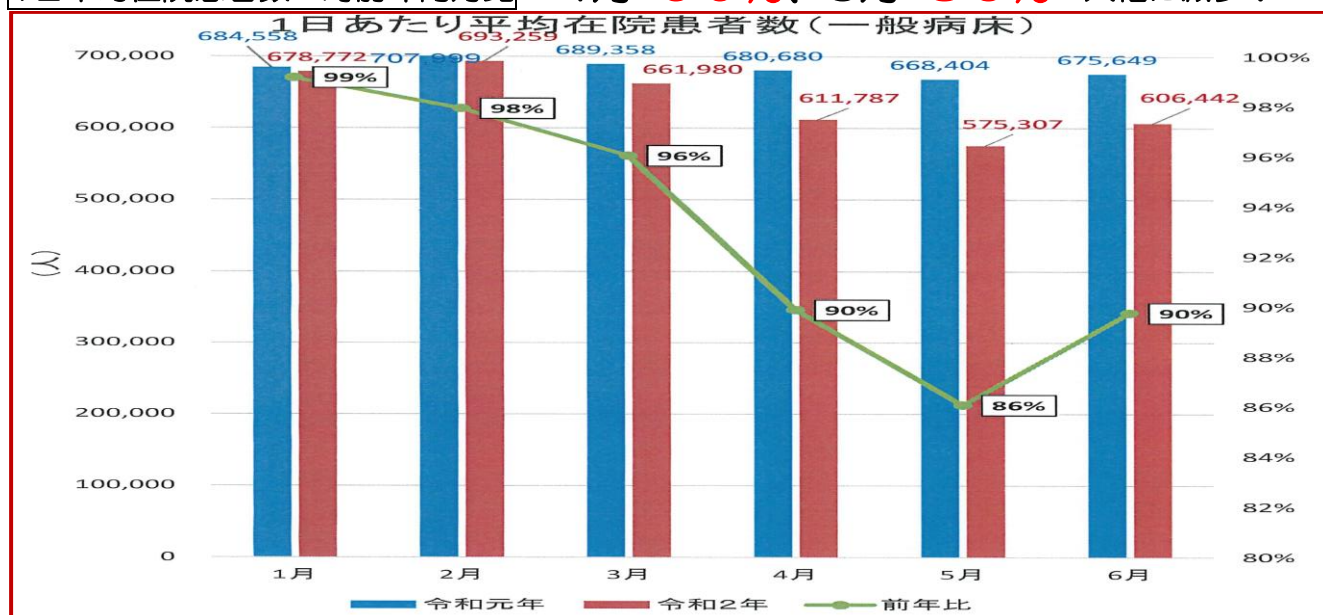
＊『新型コロナウイルス』受入れ病床・病棟を確保するためには、単に病床を確保すれば動き出すわけではなく、入院病床（病棟）として、従事する看護スタッフの確保が重大問題となります。データでは「急性期病棟」を有する100床以上の病院で、100床当り看護師が50人未満でも86病院中12病院で受入れ体制を確保したこととなります！そして、その内5病院では実際に新型コロナ患者を受け入れた実績があります！実際の受入れ病床数が明らかではなく、1床当り何人の看護スタッフが体制を取っていたのか？定かではありませんが、『新型コロナ』対応病床を確保するために他の病棟・病床から看護スタッフをコロナ病床専任とするためには、既存病床・病棟のスタッフは減員とならざるを得ません！

察するに、その対応のために、「既存病棟」の夜勤体制の縮小（3人夜勤が2人へなど）や、「コロナ受入れ病床・病棟」が1人夜勤体制という状況があるのではないのでしょうか？

(その⑤)

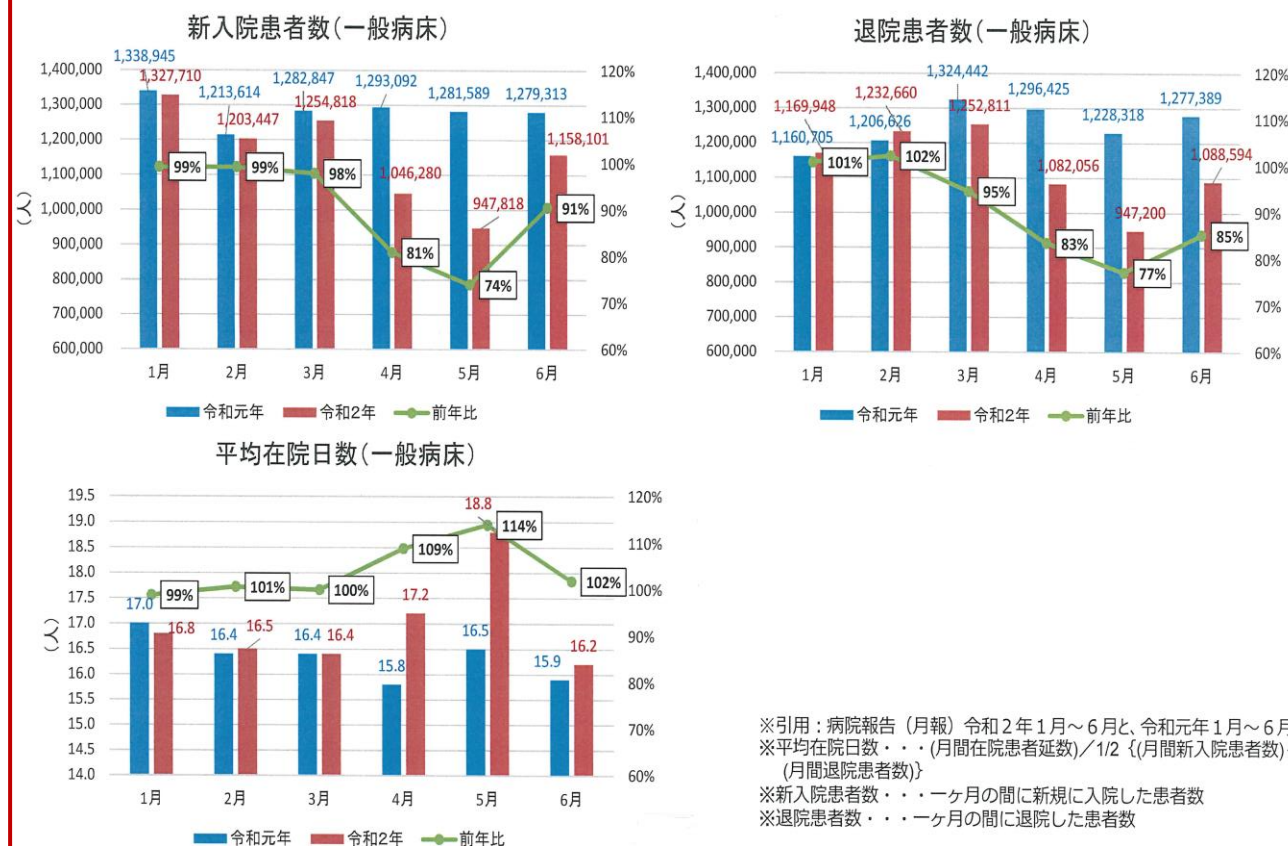
一般病床の「患者数」月別変化—対前年同月比

1日平均在院患者数=対前年同月比 4月-90%、5月-86%~大幅に減少!



新入院患者数、退院患者数、平均在院日数の前年と今年の比較(一般病床)

- 一般病床において、全国の新入院患者数・退院患者数ともに、前年同時期に比べて減少傾向。
一方、全国の平均在院日数は、前年同時期に比べて長期化傾向。



☆データは6月分までですが、7～8月の第2波の状況がどの様に患者動向に影響しているか?